

件名	国民健康保険料をこれ以上値上げせず財源確保のために全力を尽くすことに関する陳情			
提出者 住所氏名	墨田区京島 墨田生活と健康を守る会 会長 B			
受理年月日	平成30年2月1日	受理番号	第2号	
<p>要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 区は、国民健康保険料の値上げでなく大幅に減額するために、昨年同様一般財源を確保し予算計上してください。 2 国庫負担割合を5割に増額するよう、国に対し、意見書を提出してください。 <p>(理由)</p> <p>国民健康保険料は、これまで17年間連続して値上げされ、その保険料は異常なほど高いものになっています。さらに、新年度から国民健康保険制度がこれまでの区市町村単位から都道府県単位に変わることに伴い、保険料の大幅な値上げが想定されます。</p> <p>東京都の試算によれば1人当たりの保険料が2016年度比で1.3倍になるともいわれ、約3万4,000円もの大幅な値上げが予想されています。これ以上の値上げは区民の医療を受ける権利さえも奪い、国民健康保険制度の崩壊にもつながりかねません。</p> <p>憲法第25条に基づいて発足した制度の趣旨にふさわしく、国民健康保険制度が本来の役割を果たすよう、保険料をこれ以上加入者に押し付けるのではなく、むしろ減額に努力すべきであり、このことを強く要望するものです。</p> <p>そのために、国庫負担の大幅な増額を国に求め、都にも公費負担の支出を改めて求めるべきです。</p> <p>以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>				